KAGU TIMES

家具タイムズ
2024年 1月号
昭和 27 年 3 月20日創刊
令和 6 年 1 月25日発行

2024
No.862
JANUARY
大阪府家具連合会

日本の家具メーカーのルーツ的な椅子特集。

飛騨産業と言えばウィンザー 日本の住宅に憧れの椅子

飛騨産業のキャプテンチェアで知られるウィンザーチェア（現在は穂高のアームチェア）。戦後はアメリカへの輸出を生産の中心に据えることで、欧米文化につちかわれてきました。日本でもコロニアルスタイル（日本の伝統的な建築様式が融合した住宅）が流行し、日本人の暮らしにも定着していきました。後に飛騨産業と言えばウィンザーチェアと称されるほど数々のデザインのウィンザーチェアを世に出してきました。ロングセラー商品です。

Captain Chair by HIDA

日本唯一の曲木家具専門ブランド秋田木工のNo.16

秋田木工は昔ながらの曲木技術、木が持つ可塑性（圧力を受けて変型したものが、そのまま元に戻らない性質）を利用。天然の無垢材を煮沸し、鉄の金型に沿って曲げ成型する技術。中でもNo.16は初期の製品で、世紀を超える愛されたデザイン。繊細な曲線美を持ったチェア。1980年代は初期のIDÉEの曲木シリーズを手がけ、忠実にアンティークのベンドウッドチェアを再現し、その流れでトーネットのNo.14にあたるNo.1006などを開発。現在もNo.16は健在。

No.16 by Akita mokko

工芸の工業化を目指した マルニ木工のデルタチェア

マルニ木工のデルタチェアは1960年頃にマルニ木工が量産化した椅子で、レトロな外観は現代の目で見ると新鮮に感じます。デザインの特徴と構造を兼ね備えているのが三角形で支える「トラス構造」を応用した脚。トラス構造とは川に架かる橋や鉄塔、ドーム建築などに採用されている構造形式で、部材同士を三角形につなぐことで強度を高め、重さを支えています。「工芸の工業化」を目指した先に、非常に独創的なデザインの椅子が生まれました。

Delta Chair by maruni

Conde Houseのロングセラーは北欧デザイナーが手がけた

Conde House（カンディハウス）がスウェーデンのデザイナー Sture Eng（スチウレ・エング）を起用して生まれた RUNT（ルント） OM CHAIR（オムチェアー）。「円 (runt)」を表す名の通り、丸い座面が印象的なロングセラー。発売45 年余りの間に、さらなる完成度を求めてリデザインを重ねてきました。樹種には北海道産材 2 種もラインアップ。軽快感とスタッキング機能で公共空間にも数多く採用。シンプルな部品で出来ていますが、フィンガージョイントやほぞ組、成型技術など多くの木工技術でつくられています。

Runt Om Chair by Sture Eng

ジャパニーズモダンの名作家具 柳宗理のバタフライスツール

1956 年に天童木工から発表されたジャパニーズデザインのアイコン的家具。柳宗理氏のイマジネーションと、天童木工の技術が出会ったことで、この美しいスツールが誕生しました。ルーブル美術館やニューヨーク近代美術館など、世界各地の美術館にコレクションされているデザイン史の傑作です。同じ形の 2 枚の成形合板を真鍮金具でジョイントしたシンプルな構造。個性的なフォルムですが、多様なスタイルのインテリアに合わせられます。

Butterfly Stool by Sori Yaagi

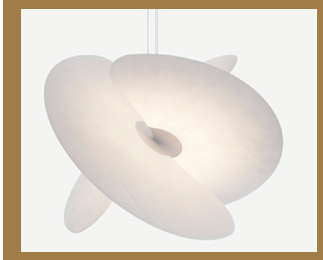
今やカリモク60の大定番 Kチェアは1962年生まれ

K チェアは1962年、初めての自社製品として開発された、カリモクの椅子の第一号です。当時、木製パーツだけで製造していた輸出向け家具の中から、最もシンプルなものを選び、日本の住宅向けに改良がほどこされました。K チェアは一度も廃番になることなく、もともとは輸出用家具をお手本にデザインしたため、組み立て式で軽く、コンパクトに輸送ができる構造になっています。そのためパーツごとの交換が可能。より長く使い続けることができる。

K Chair 2p by Karimoku

画期的で洗練されたデザインのサステナブル照明 LUCEPLAN

イタリア照明界に新風を吹き込んだ革新的なブランド LUCEPLAN（ルーチェプラン）。新作のLEVANTE（レヴァンテ）は3つの大きな羽が交差したユニークな形状です。軽やかなPET素材から構成されており、やわらかく幻想的な光のオブジェのように浮遊します。LEDの寿命に制限されず光源部は取り替え可能です。各セードは、光源を内蔵する中心格にマグネットで取り付けられているため、コンパクトな梱包・輸送を可能にします。



LEVANTE by Marco Spatti

LE KLINT New series!

LE KLINT（レ・クリント）は 1943 年に創業した、デンマークを代表する王室御用達の照明ブランドです。1901 年、デンマークの建築家 Jensen-Klint（イェンセン・クリント）が日本の折り紙をヒントに、オイルランプのあかりを調節するためのプリーツのシェードを作りました。規則的に続く折りは美しい陰影を生み出し、LE KLINT の原点となっています。新作はクラシックタイプのシーリングに細かなプリーツで折り上げられた新作《モデル 23》が登場。またメタル製でありながら、LE KLINT の象徴的なプリーツを連想させるペンダントの新シリーズ FASET（ファセット）も登場します。

MODEL23 by Kaare Klint

FASET by Aurélien Barbry